つばさ TSUBASA

令和４年度 生涯学習課だより

第360号(４月)

放課後子ども教室 活動報告

室内でも屋外でもダイナミックな作品作り！

材料は不要になったダンボール！部屋を広々と使い、創作活動を行いました。いくつも箱を組み合わせ、体がすっぽり入るほどの大きな家をつくった低学年たち。みんなで協力し、時計やテーブルなど次々とアイデアを形にしていました。高学年は、ドールハウスや本物そっくりのピザなど、細部にまでこだわり、カラフルで完成度の高い作品が並びました。

活動の最後に「作品を紹介したい！」と声があがり、子どもたちの意識の変化を感じる場面もありました。ひとりずつ前へ出て工夫したことや見どころなどを発表。周りのみんなも質問をしながら、しっかりと鑑賞していました。アートは本来、とても自由な分野のはずですが、成長するなかで苦手意識を持つことも少なくありません。幼少期から継続して制作を続けることで自分の作品に自信を持ち、ほかの人のよさや面白さを見つける目や心を養っていってほしいです。

晴れた日には、町民グラウンドで「イグルー」づくりをしました。イグルーとは、カナダ北部のイヌイットの人たちが旅先で作る簡易住居のこと。ブロック状の雪を積み重ねてつくります。本物はレンガのように同じサイズに切り出しますが、今回はスコップでザクザクと掘り出す簡単な方法を紹介。短い時間でしたが、掘る人・運ぶ人・積む人…と自然と役割分担をしながら作業を進め、力を合わせて大きなイグルーを完成させました。今年は大雪で大変な思いをしましたが、こうして子どもたちの笑顔を見るとやっぱり北海道の冬には雪は欠かせないと感じます。

毎週の活動はSNSでご覧いただけます。

facebook Instagram

豊浦町　放課後子ども教室　検索